

J A C S

NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第13巻第1号

発行日● 2005年5月2日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第30回 消費者行動研究コンファレンスのご案内

統一論題:消費者行動のグローバル・パースペクティブ

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたのでご案内致します。第1日目に自由論題研究報告・会長講演・会員総会・懇親会、第2日目に統一論題研究報告・記念講演を予定しています。

開 催 概 要

開催日: 2005年6月4日(土)～5日(日)
会場: 株式会社アルソア本社(山梨県北巨摩郡小淵沢町)
コンファレンス参加費: 会員 3,500円 (非会員 5,000円)
懇親会費: 6,500円
参加申込: JACS ホームページ、ハガキ、FAX などで受け付けております。

[第1日目]

10:00 - 受付開始
10:30 - 12:00 自由論題研究報告1
13:30 - 15:30 自由論題研究報告2
15:50 16:30 会長講演
16:50 - 17:50 会員総会
18:00 - 20:00 懇親会

[第2日目]

9:30 - 受付開始
10:00 10:30 統一論題概要
10:30 - 12:00 統一論題研究報告
13:00 14:00 記念講演
14:00 - 15:00 質疑応答

統一論題 「消費者行動のグローバル・パースペクティブ」

田中 洋（法政大学）

今回のコンフェレンスの統一論題では、これまでにJACSではあまり注意を向けられてこなかった消費者行動のグローバル側面が検討されます。我々が通常扱っている消費者行動において見出される現象、それを説明するモデルや理論はグローバルに共通していると仮定してもいいのでしょうか。消費者行動という学問は従来米国中心に発達してきましたが、そこでの方法や理論はグローバルに通用するものなのでしょうか。

この問題は時代・環境から要請されている問題でもあります。レヴィットのよく知られた「市場のグローバル化」(The Globalization of Markets)論文がハーバードビジネスレビューに掲載されたのは1983年でした。レビットは当時進行する消費のグローバル化に着目して、メーカーはそうしたグローバル共通化に対応すべきであると主張し、それ以来20年以上が経ちました。実務家にとって急務なこうした課題に、消費者行動研究者はどのような解答を出すことができるのでしょうか。

この分野で考えられる研究課題を以下にあげてみましょう。まず、消費者行動の文化・エスニシティ・ナショナルアイデンティティにおける比較です。消費者行動は文化によって異なるものなのか、もし異なっているとすればどのように異なっているのか、またなぜ異なっているのか、それはどのような理論によって説明ができるのか。

また次のような課題もあります。消費者行動が変化するとき、そこにはどのような文化的要因が働いているのでしょうか。あるいは経済・社会のグローバル化に伴って消費者が移動したり、あるいは消費文化がほかの文化に影響するとき、そこではどのようなことが起こるのか。また、その変化はどのように予測や説明ができるのか。

このような課題に加えて、方法論的な研究課題もあります。「伝統的」な消費者行動論で使われてきたアプローチ方法はこうした課題に応えるために十分なのでしょうか。例えば、消費者がもつ(と仮定した場合)「文化」変数はそれ自体実験では操作できません。経験的方法と解釈学的方法はそれぞれここでどのように有効なのでしょうか。

こうした課題は今年(2005年)2月に米国フロリダのタンパで開かれた消費者心理学会(SCP)のテーマでもありました。たまたまとはいえ、ふたつの学会の関心が一致したわけです。心理学の分野ではすでに比較文化心理学の専門ジャーナル(Journal of Cross Cultural Psychology)が発行され、すでに多くの研究が蓄積されていますが、消費者行動の分野ではまだ一部の研究者によって探求が着手されつつある状況といえるでしょう。

今回の論題はJACSにおけるこうした課題に取り組むためのはじめての試みです。企画にあたっては、三組の研究者・実務家に発表をお願いし、この分野の方法論・現象・分析をカバーするように意図しました。そして発表者のひとりであるユタ大学のラス・ベルク教授に記念講演をしていただくことにしました。今回のコンフェレンスが多くの参加者の関心を刺激し、さらにこの分野の研究が日本で発展することを希望しています。

My Consumption 「パンチの旅」

畑井 佐織（千葉商科大学）

私は旅が好きである。私にとっての旅は、膝まらの旅とパンチの旅がある。膝まらの旅は、緊張感はないけれど、ほっとする旅。たまにボディブローが入ることもあるが、そこにいることが自然に感じられる旅である。膝まらの旅には、バリ島が似合う。パンチの旅とは、頭や心に衝撃を受ける旅である。既成概念を覆されるパンチが振りかかってくる旅。案外、パンチの旅が忘れられないものである。

これまでパンチを受けた瞬間を挙げるときりがないのだが、思い出のパンチは、メキシコである。ビーチ好きな私

は、念願かかって憧れのロス・カボスを訪れた。ロス・カボスは、カリフォルニア半島の先にあるリゾート地である。ミスターな私は、ハリウッドスターが常宿にしているというホテルに宿泊するというので、ワクワクしていた。NYから乗り継いでロス・カボスに入る予定であったが、乗り継ぎ便が遅れたため、遠回りを余儀なくされ、通常は6時間ほどの道のりを半日かかってたどり着いた。ぐったりした私たちを待っていたのは、荷物紛失という事実である。フライトの遅延で、荷物が行方不明になってしまったらしい。私たちは乗客たちが次々と荷物を持って出て行く姿を見送り、荷物紛失カウンターに向かうこととなった。異国の地に手ぶらでいるという状態は、かなりの不安が伴う。私たちは気が気でないのに、メキシコ人の空港職員たちは「大丈夫」とのんびりしている。そんなメキシコ人相手に荷物紛失の手続きに時間がかかったためか、気がつく、外は真っ暗、入国審査のカウンターには誰もいなくなっていた。タクシーもない。空港を見渡すと、荷物紛失担当職員2人と私たち2人の4人だけである。聞くと、皆、もう帰宅したという。「え～！？」と思いつつ、しょうがないので、入国審査なしで、その空港職員にホテルまで送ってもらうことになった。一体、どうなっているんだ。ここで誘拐されても誰も私たちがメキシコにいることさえ知らないままだろうかと、曖昧な恐怖感をかかえつつ、ホテルに無事到着した。ホテルに着いても何も荷物がないので、何だか寂しい気分だ。ホテルのショップも終わっており、寝巻き用のTシャツさえも買うことができない。ホテルガイドに「YUKATA あります」と書いてあったので、早速ルームサービスに電話をし、電話に出た女性に今日の一連の騒動を話し、浴衣でもTシャツでもあれば欲しいと言った。すると「YUKATA もTシャツもない」という。ガイドに書いてあるのに、一体どうなっているんだと文句を言うと、彼女はこう言った。「裸で寝るのもいいわよ」。翌朝目覚めると、窓の外にはこれまで見たことのないくらい深い碧色の海と、ピンク、イエロー、ブルーといった鮮やかな色彩が見えた。ここはメキシコだ。荷物なんかなくなってもいいや、裸で寝ればよかった、そんな気持ちになった。もちろん、荷物は翌日無事にホテルに到着したのであったが。

パンチをくらってもまた行きたくなるのは何故だろうか。パンチの旅は気づきが多い。自分の既成概念が否定されたり、同定されたりすることが、何かしらの進歩に結びつくからである。そう考えると、学会もそうである。学会でパンチやローキックを受けながらもまた行きたくなるのは、そういう理由からである。今度は強烈パンチを受けないようにと、受身を練習しつつ、またパンチの旅に出かけたい。

第5回(2005年度) JACS-SPSS論文プロポーザル賞の募集

日本消費者行動研究学会では、SPSS 社のご協力を受けて、若手研究者の研究支援のために、JACS-SPSS 論文プロポーザル賞を設けています。研究歴(大学院修士入学から)10年程度の若手会員の方から未発表論文の応募を致します。共同研究の場合には、主な研究者がこの条件に当てはまっていることが必要です。

受賞賞金の総額は50万円(最優秀賞1点30万円、優秀賞2点10万円)となっています。2005年春のコンファレンスにおける審査委員会での審議により選出され、選出された研究は2005年秋のコンファレンスで研究結果を報告し、役員会で最優秀賞1点、優秀賞2点が選出されます。

第5回 JACS-SPSS 論文プロポーザル賞へ応募を希望される方は、下記の要領にしたがいEメールにてお申込み下さい。多くの若手会員の方から、応募をお待ちしています。

宛先 : jacs@jacs.gr.jp

応募要領: Eメールのタイトル「JACS-SPSS 論文プロポーザル賞応募希望」

タイトル 氏名 所属

概要(400字以内で、「研究の目的」、「研究の方法」を明記して下さい)

締め切り: 2005年5月27日(金)

● 新入会員の募集について ●

本学会への入会を希望される方は、本頁下部の該当項目に☑をし、FAX もしくは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上、e-mail にてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

●入会資格

[学会会員] 消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教暦を有する者、等)。但し、学会会員2名の推薦が必要。

[賛助会員] 本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

[学会会員] 5,000円(但し、大学院生の場合は2,000円に減免)

[賛助会員] 個人会員 1口 5,000円 法人会員 1口 50,000円

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。

次回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会: 参加 不参加)

お名前:

ご所属機関:

ご住所: 〒

TEL:

FAX:

E-mail:

● JACS事務局のご案内 ●

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155
関西学院大学商学部 マーケティング研究室(新倉貴士)
TEL: 0798-54-6444 FAX: 0798-51-0903 Email: tniikura@kwansei.ac.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS 内)
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>

* ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、またお問合せ等は上記までお願い申し上げます。
